

授業改善プロジェクト 課題1

日頃の授業をもう一度振り返り、改善点を明確にしよう

- 問題の確定から仮説の設定にむけて -

番号 15005 RG

所属 高知南高校

氏名 佐藤真子

1 研究の背景

高知南高校2年2H普通科(男子21名女子19名合計40名)

比較的落ち着いた学習態度で、学力の極端に低い生徒はいない。

家庭学習がほとんど行われていない。定期試験を一夜漬けで済ます生徒が多い。

2 リサーチクエスション

家庭学習の定着を図りたい。その結果が授業や実力試験に反映してほしい。

3 予備調査

予備調査1 授業観察の結果

予備調査2 英語力を示すデータ

予備調査3 アンケート、授業評価の結果

予備調査4 生徒の自己評価

予備調査5 文献研究

4 仮説の設定

(1) 仮説

仮説1 とにかく宿題を出したら少しでも家庭学習をするだろう。

仮説2 宿題は出しただけではやらない生徒もいるだろう。

仮説3 何らかの確認をする必要があるだろう。(毎回のチェックをしたり試験をしたり)

(2) 実践の方法

宿題の量を少なく回数を多く出すようにした。授業の最初に見て回り確認した。

やり放しで終わらないために、ショートテストを行い定着を図るようにした。

【研修自己評価】

授業の空き時間は宿題の作成に、授業ではチェックやショートテストに時間を取られてしまい、本題を進める時間が足りなくなってしまう。

宿題はやらない生徒は依然としてやらない。